



議会だより



ペーパーレス議会を目指し、タブレットの研修中

仁淀川町議会では資源保護の観点から紙の使用をなるべく減らす一環として、タブレットを使用した会議システムを目指しています。

三月定例会

どう使う！今年度予算	2P～4P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A (3月定例会)	5P～9P
議案の審議結果 (3月定例会)	10P～12P
議長一口メモ！	12P
一般質問 (8人が質問)	13P～20P
コラム (1)石垣トマトハウス2年目・(2)間伐取り組み3年目	14P・19P
知事が本町視察 (地域住民と意見交換)	18P
国道33号早期整備促進を求める要望書 (仁淀川町議会)	20P
高吾北広域町村事務組合報告 (第1回定例会)	21P

新年度予算一般会計歳入予算

67億4,678万円

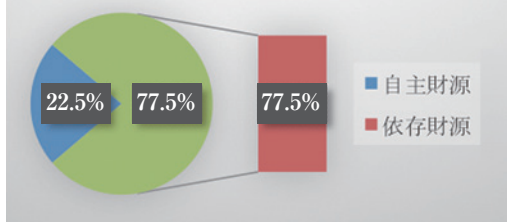
前年度より4.9% 3億1,414万円増

平成31年度第1回仁淀川町議会定例会が3月5日から3日間の日程で開催。条例改正案15件、公共の施設指定管理者の指定議案3件、平成30年度補正予算5議案、平成31年度一般会計予算案他7議案を上程、全議案執行部原案通り可決、閉会した。31年度一般会計予算は昨年度比3億1,414万円増の67億4,678万円。

主な事業

- ☆大崎診療所建て替え
- ☆池川保育園建て替え補助
- ☆中央公民館耐震化・改修
- ☆「しもなの郷」集落活動センター ☆特別職報酬改定

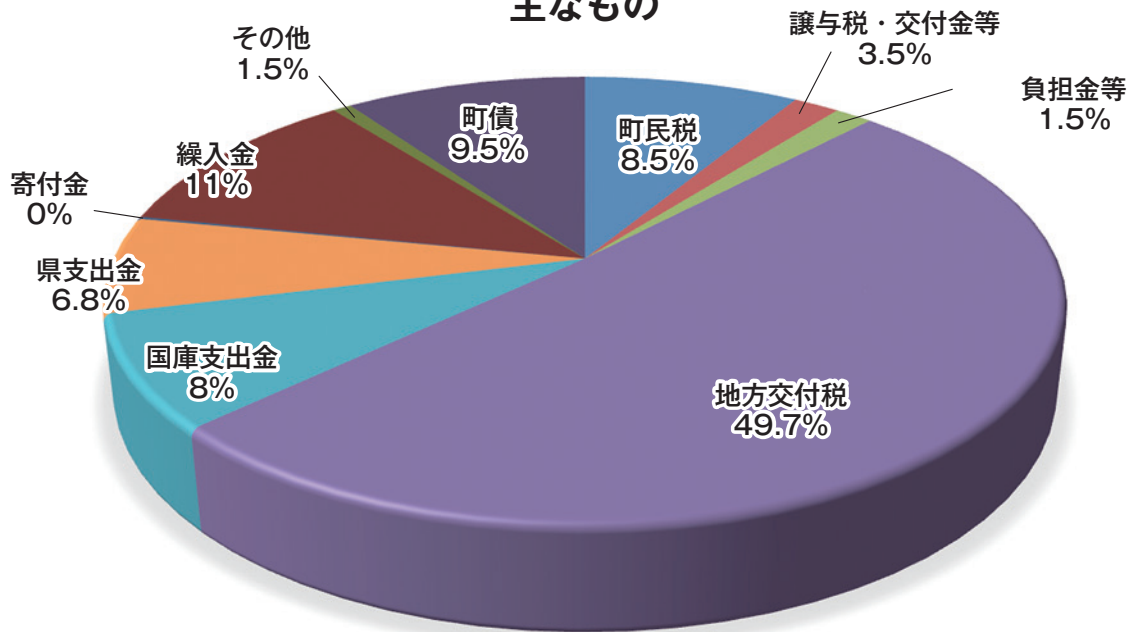
財源の内訳



自主財源 町で集めたお金（町民税・固定資産税他）

依存財源 地方交付税や国、県補助金、町債などのお金

平成31年度一般会計予算 主なもの

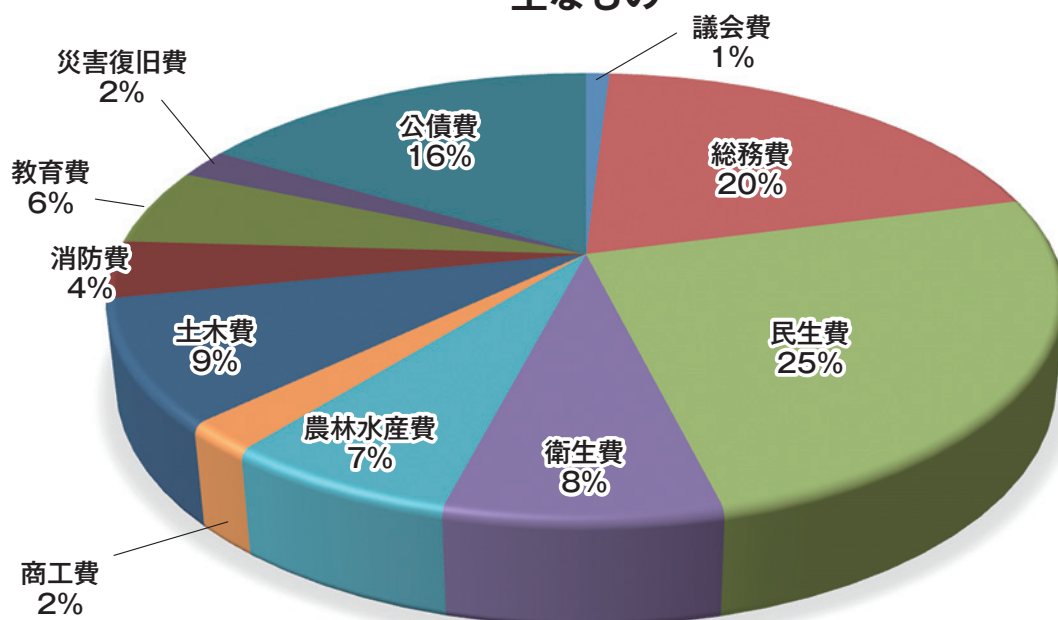


平成31年度各会計当初予算

会計区分	一般会計	特別会計						
		国民健康保険	大崎診療所	介護保険	後期高齢者医療保険	水道事業	農業集落排水事業	会計事務集中管理
今年度予算	67億4,678万円	7億2,596万円	2億1,803万円	12億7,769万円	1億2,948万円	1億633万円	5,705万円	1億948万円
前年度予算	64億3,264万円	7億6,338万円	1億9,666万円	12億6,318万円	1億3,175万円	9,317万円	3,451万円	1億817万円
増減 △は減額	3億1,414万円	△3,742万円	2,137万円	1,451万円	△227万円	1,316万円	2,254万円	131万円

歳出予算

平成31年度一般歳出予算 主なもの



主な事業



大崎診療所建て替え

基本設計業務 687万円

取り壊し設計業務 432万円

実施設計業務 1千202万円

※この件については複数回全員協議会で議論を重ねており、原案を支持する声が多数を占めた。

池川保育園建て替え

補助金 1億4千800万円

老朽化に伴う耐震不足などにより建て替えを行う池川保育園。

本会議で議論された意見

※老朽化は認められるので建て替えは必要だが、現在地での建て替えか。

※事前に具体的な内容説明をすべきではないか。



中央公民館耐震化・改修

耐震対策検討委員会の提言により耐震化。機能を公民館機能からコミュニティ施設として改修する中央公民館。

耐震補強工事設計委託業務 1千135万円

本会議で出された意見

※現在の公民館の改修だけでなく、付近一帯の再開発を含めた案にしてはどうか。



「しもなの郷」集落活動センター

設計管理委託料486万円

改修等整備工事費5千514万円・計6千万円

「しもなの郷」改修と作業場の建設が予定されている対岸の駐車場付近。

を説明を施設を設けた際に、加工否された。全員協議会で説明を受けた際、加工否された。全員協議会で説明を受けた際、加工否された。



☆特別職・議員報酬引き上げられる

特別職報酬改定議案2案を上程、両議案を可決。議員報酬改定条例案は賛成、反対討論の後、採決され反対2、棄権1、賛成6で可決された。

特別職報酬改定 (単位：円)				議員報酬改定 (単位：円)			
役職	報酬額	改定前の報酬額	増減額	議会	報酬額	改定前の報酬額	増減額
町 長	680,000	667,000	13,000	議 員	181,000	165,000	16,000
副町長	587,000	568,000	19,000	常任委員長	190,000	170,000	20,000
教育長	552,000	540,000	12,000	副 議 長	204,000	188,000	16,000
				議 長	252,000	235,000	17,000

議案の審議そこが聞きたい

— 第1回（3月）定例会 —

Q & A

■仁淀川町シェアオフィス設置及び管理に関する条例について

問 西森(常)議員

提案だが、シェアオフィスの愛称を募集しては。

答 若藤企画課長
前向きに検討する。

問 西森(常)議員

旧名野川小にできるシェアオフィスのフロアを今後拡大する予定は。

答 片岡総務課長
現段階では拡大の予定はない。1階のみ利用できるよう工事中。

問 竹本議員

何社入る予定か。しっかりと指定管理者を。

答 若藤企画課長
1社が使う形を予想している。指定管理者は公募し、検討していく。

問 片岡議員

町内の人が活動できれば理想的では。

答 若藤企画課長

できるだけ地元業者に入ってもらい、人の輪を広げていきたい。

問 左京議員

部屋の間取りはどうなっているか。

答 若藤企画課長

3部屋あり、昔の教室のまま改修している。

シェアオフィス
複数の利用者によって共有する事務所。



旧名野川小の教室を改修したシェアオフィス

■仁淀川町コミュニティバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

■仁淀川町町民バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 岡田議員

関連があるので、二つ同時に質問する。
12月定例会でコミュニティバス、町民バスのバス料金無料化を提案したが、どのような検討を行ったのか。

答 片岡総務課長

2月に仁淀川町地域公共交通会議を開催し検討。タクシー業者とバス会社が共存できるように、無償化は見送った。今回の議案は高校生までのバス料金を半額にし、利用者の利便性向上を図るため、割引のある回数券を発行する。

運行している仁淀川観光が観光事業もやっているため、町民バスとコミュニティバスの合併は難しい。

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

問 大野議員

約1千200万円の時間外勤務手当を計上しているが、超過勤務への配慮は大丈夫か。

答 片岡総務課長

近年、警報の発令が早くなり、災害対応で計上した。勤務の平準化にできるだけ取り組む。

■仁淀川町レンタルハウス施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 竹本議員

条例を廃止し、普通財産とした後の利用方法は。

答 若藤企画課長

土居レンタルハウスを借りて、水耕栽培のような感じで葉物野菜を育てたいという話を受けている。有効活用するよう前向きに取り組む。

■平成31年度仁淀川町一般会計予算について

問 竹本議員

道路環境等緊急整備事業費3千600万円の内容を。

答 片岡産業建設課長

本庁、各支所で1千200万円ずつ計上。地域から緊急に整備、補修が必要な場合に使う。

問 竹本議員

家庭から出るごみの処理費が、委託料、負担金、補助金、交付金、これらを合わせて約1億5千万円。今、清掃センターの改修をしており、特別負担金4千数百万円の負担金もある。上勝町のゼロ・ウェイスト運動のように根本的にごみの減量策を考えていくべきでは。

答 津野町民課長

清掃センターは平成5年9月に建設、25年を経過。負担金を30年度約1千451万円、31年度は1千751万円支払う予定。広域の構成町村の中で「負担感が増し、広

域でごみの減量化を勉強している。町もごみ減量化に積極的に取り組む必要がある。3カ町村で取り組みを検討していく。

問 竹本議員

商工費の観光協会補助金1千200万円は人件費が主だと思うが、事務局長を全国から公募しては。

答 片岡産業建設課長

仁淀川町観光協会は、事務局長1人、職員3人の4人体制。現在の事務局長の任期が切れる4月以降は観光協会会長と役員で新たな人材を検討している。

問 竹本議員

観光協会が町の観光業務をコーディネートできるように組織になるべきでは。例えば、旅館のあっせんなどは。

答 片岡産業建設課長

仁淀川流域6市町村と連携し、仁淀ブルー観光協議会と連携しながら、観光客のアテンドを行っている。

観光ガイドの養成、宿泊所のあっせんも実施している。

*アテンド
付き添いをする。世話をすること。

問 竹本議員

吾川スカイパークの工事請負費の内容と、利用率を。

答 片岡産業建設課長

吾川スカイパークは土日、夏休みなど、多くの利用がある。シャワーの使用希望が多いため、シャワー室ボイラーの取り替えに45万円を計上。
平成30年度の利用者は、合計で956人。

問 竹本議員

利用料はもらっているのか。仁淀川町は無料、低料金の施設が多く、ごみだけ置い

ていかれる、ということでは困る。

答 片岡産業建設課長

四国ウイングが吾川スカイパークを管理しており、料金をもらっている。

問 竹本議員

北浦のふれあい公園オートキャンプ場駐車場の整備の内容を。



吾川スカイパーク全景

答 古味池川地域振興課長
町有地を舗装し、区画線工、車止めと転落防止柵の工事を計画している。

問 岡田議員
集落活動センター改修等整備工事費の場所と内容を。

答 若藤企画課長
しもなの郷、新しく建てる加工施設、夢の森公園、この三つをまとめて集落活動センターとする予定。

老朽化した、しもなの郷改修工事に1千235万8千円。加工施設の新築工事に2千983万9千円。渇水時の水不足対策のため、水道工事費に1千294万3千円。

問 岡田議員
もう少し手前から説明があるべきでは。ビールを製造



集落活動センター作業場（ビール工場）建設予定地

するということもあるようだが加工施設の建設面積の提示もない。これは議会軽視だ。

答 若藤企画課長
建物面積は121㎡。

集落活動センターとして、しもなの郷加工施設、夢の森公園、これを指定管理で一括してしもなの郷にもらう方向で検討中。

問 片岡議員

集落活動センターの改修で、ペットと同時宿泊できる設備を作っては。しもなの郷のメンバーに上名野川が入っていないが、協力を求めているどうか。

答 若藤企画課長

ペットと上名野川ことは、下名野川地域の方や集落活動センターの構成団体と検討しながら進めている。

問 左京議員

この予算組みは非常に議会軽視。全員協議会でビールの話が出たとき、議員の大半が否定的だったのにいきなり予算を計上している。

答 大石町長

集落活動センター関係の予算は、しもなの郷を管理している建物の修繕、加工施設と水道の予算となっている。ビールは集落活動センターの活動の一環として事業者が自己資金で運営するもの。予算上は加工施設であり、ビールにこだわら

ず、他の加工施設にも転用できる。

問 岡田議員

民間保育所施設整備費及び設備整備費補助金の場所と内容を。

答 竹本教育長

池川保育園新築工事の補助金。場所は現在の敷地へ建設予定。工事中は旧池川幼稚園を仮園舎として使用したいと要望が出ている。

答 古味教育次長

建築面積は410㎡。部屋数は保育室6、調理室1、職員室1、ホール1、応接室1。平成31年度設計、工事の予定。事業費は2億1千52万円。補助対象経費は1億8千475万円。町の補助金は1億4千780万円。園の自己負担が5千372万円。国庫補助は8千282万3千



耐震不足、老朽化により建て替える池川保育園

円。

問 岡田議員

補助を出した保育園に立派なものを建ててもらいたい、場所も選んでもらいたい、あれただけの面積でいいのか。

答 竹本教育長

学校法人の池川保育園は民営であり、町が「立派なものを作って」とは申し上げにくい。園は隣接地を購

入し、必要な法定の面積を満たしているため、計画を了承した。

問 片岡議員

レンタル畜産施設等整備事業費補助金で、ツボイ地区の状況を。

答 古味池川地域振興課長

2人の畜産農家が計9頭を飼育しており、それぞれ既存施設の高度化改築、新設として100㎡を計画している。

問 片岡議員

神楽保存会補助金が池川、名野川、安居それぞれ違うが。

答 古味教育次長

各神楽保存会から出された申請書に基づき計上している。刀や衣装の更新など、団体によって異なるため。

問 大野議員

長者地域の大銀杏前からヘリポートに道を計画している。予算を地域づくり事業補助金に計上され

ているが、仁淀地域振興基金を使うはずではなかったのか。

答 大石町長

ルートに地滑りの観測点が多くある。正式な道路を抜くとなれば、橋も必要となり、相当な経費がかかる。地域づくり事業補助金で、影響のない範囲をまず整備したいと地元をお願いをしている。

問 片岡議員

前回の議会で、計上していた備品購入費のドローンは有効活用されているか。

答 片岡総務課長

平成30年度予算でドローンの購入を行い、2人が研修に参加。まだ活用していない。

問 左京議員

地方交付税、これは33億5千万円で30年度より5千万円の増となっている。それと関連だが、地方債償還見込み額、これは本町の場合、7割の交付税で手当

てされるパターンに該当すると思われる。計算すると約7億3千万円くらいが70%にあたる。もしそれが含まれているとすれば極端に下がっているが、特例期間終了後はいくらになるのか。

答 片岡総務課長

地方交付税が5千万円増だが、償還金の部分の70%でいくと、もつと増えるのではないかと、この質問だが、

地方交付税については、特別交付税が近年の状況をみた関係で2千万円ほど減額。普通交付税が31億7千万円を見込んでいる。普通交付税を7千万円増額と見込んでいる。その中で、償還金などがあるが、合併算定による減額を3千万円程度見込んでいる。それに

対し、償還分とか地方財政計画の伸びの関係で7千万円の増額となっており、この計算で普通交付税を計上している。

問 左京議員

新庁舎を建てたばかりだが、備品購入費の説明を。

答 片岡総務課長

財産管理費にある備品購入費25万4千円は、主に本庁1階の多目的ホールで利用する椅子、テーブルを購入する費用。機械器具費の82万5千円は公用車にドライブレコーダー15台を設置するため。消防費の備品購入2千41万円の主なものは、森分団と寺村分団の積載車の更新費など。

答 片岡保健福祉課長補佐

介護保険費の備品購入は、家事支援としてごみ出しを行うヘルパーが使用するごみ集積場を設置するもの。

答 津野町民課長

庁用器具費で計上した備品は、戸籍住基の契印機。

答 藤村仁淀住民福祉課長

保健衛生総務費の備品購入は古い公用車1台を買い替えるもの。

答 古味教育次長

教育委員会関係の備品ですが、これも公用車の更新で、軽四1台、普通車1台。

問 左京議員

上中ノ瀬地区飲料水供給施設整備工事に3千600万円を計上しているが。

答 藤村仁淀住民福祉課長

中山間地域生活支援総合補助事業で県の補助が出る。地区の高齢化により維持が困難となり、地区全体に給水できる施設の新設、取水施設までの管理道を整備して維持管理ができるよう計画している。

問 左京議員

交通整理委託料600万円。1日2万円で計算すると300人をどこで雇われているのか。

答 片岡産業建設課長

ひょうたん桜、上久喜の花桃など観光客増に対応するため交通整理員に委託。中津溪谷、安居溪谷は来客者が非常に伸びており、役場職員では振替休日が取りづらく、ガードマンでの対応としている。

問 左京議員

「ゆの森」の改修工事に



改修される「ゆの森」駐車場

1千309万円を計上しているが、強度の補強という問題ではなく、飾りであるように見受けられるが、改修を急ぐ必要はないのでは。「ゆの森」の改修に3年間で7千500万円を要すると聞いたが。

答 片岡産業建設課長

平成28年の補正予算で設計委託料を承認され、「ゆ

の森」全体の改修についての設計委託を実施している。全体で約8千500万円の改修費が見込まれていたが、精査して現在の工事費となった。

駐車場の外柵、手前に鉄骨の柵がある。

町内での一番の観光地である中津溪谷の景観に配慮した工法での改修を、平成31年度に計画している。駐

車場の床面は、ボルトの欠損などがあるので、併せて改修する。

問 左京議員

「ゆの森」改修工事の内容は町内の大工でできる仕事ではないか。

答 片岡産業建設課長

今後検討する。

問 左京議員

給与費明細書にその他の

特別職の人員の記載があるが、平成30年は788人、31年は1千305人。増員の理由は。

答 片岡総務課長

前年度より517人多い理由はほとんど選挙になる。平成31年度は、県議会議員選挙、参議院議員選挙、知事選挙の各投票所の投票立会人、期日前投票の投票立会人、開票所の開票立会人、これらの人数を計上したため増加した。

○討論

■仁淀川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

反対 左京議員

今、自己責任、自己決定の原則に基づく行政運営が求められている。

今後、町を継続させていくためには人件費の抑制は必要。さりとて、子育て時代の職員の給料を抑制することはあつてはならない。今回は見送って、若い人が選挙に出ていただける対策と併せて検討してはどうか。

6、7年前に「議員は日額制でお願いしたい」という声を上げたことから反対する。

賛成 片岡議員

本町の議員報酬は長年据え置かれ、合併前のまま。

今、私に課せられた責任の一つは、後継者の育成。子育て世代から50歳ぐらいまでの若い世代、女性の議員が必要。まず、報酬を徐々に引き上げ、興味の持てる

議会づくりが第一歩の段階で、議会経験者の我々が候補者に惜しみない選挙協力で後押しし、家族から理解を得る努力をすれば、仁淀川町議会も新鮮で、多くの町民からも支持が得られると確信している。

そのために賛成する。

棄権 竹本議員

判断しかねるので、退席する。

○討論

■平成31年度仁淀川町一般会計予算について

反対 岡田議員

集落活動センター改修、池川保育園の新築など、具体的な設計根拠が示されておらず、十分な説明もなかった。

町民福祉に寄与した予算書ではない。

よって反対する。

賛成 西森常晴議員

議員である以上、納得のいかない部分を除いた修正案を提出するべきだ。

議案の審議結果

平成31年第 1 回仁淀川町議会 3 月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第1号	仁淀川町森林環境譲与税基金条例について ※森林環境譲与税の対象となる事業を円滑に実施できるよう基金を設置するため、制定するもの	原案可決	全員賛成
議案第2号	仁淀川町シェアオフィス設置及び管理に関する条例について ※シェアオフィスを設置するため、制定するもの	原案可決	全員賛成
議案第3号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例について ※督促手数料の廃止に伴い、関連条例の一部改正を一括して行うため、制定するもの	原案可決	全員賛成
議案第4号	仁淀川町コミュニティバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※子ども料金の対象者を小学生から高校生以下に拡大するとともに、町民バスと共通で利用できる回数券を発行するため、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第5号	仁淀川町町民バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※通行路線の整理を行うとともに、子ども料金の対象者を小学生から高校生以下に拡大し、コミュニティバスと共通で利用できる回数券を発行するため、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第6号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について ※超過勤務命令を行うことができる上限を定めるなどの所要の措置を講じるため改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第7号	仁淀川町委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ※教育委員等への出務手当の見直し及び臨時期日前投票所における投票立会人の規定を追加するため、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第8号	仁淀川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について ※仁淀川町特別職等の報酬、給料審議会の答申に基づき、改正するもの	原案可決	反対:大野議員 左京議員 棄権:竹本議員
議案第9号	特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例について ※仁淀川町特別職等の報酬、給料審議会の答申に基づき、改正するもの	原案可決	反対:左京議員
議案第10号	仁淀川町スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※児童生徒の状況により、スクールバスの路線を整理するため、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第11号	仁淀川町レンタルハウス施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※当初の目的を達成したレンタルハウスを条例から削除するため、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第12号	仁淀川町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について ※土地改良法の改正に伴い、改正するもの	原案可決	全員賛成

議案の審議結果

平成31年第 1 回仁淀川町議会 3 月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第13号	仁淀川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について ※学校教育法改正による専門職大学制度の創設に伴い、改正するもの	原案可決	全員賛成
議案第14号	仁淀川町手造りの森ふるさと交流運営基金条例等を廃止する条例について ※基金の設置目的が終了したため、本条例を廃止するもの	原案可決	全員賛成
議案第15号	仁淀川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を廃止する条例について ※放課後子ども教室は、放課後子ども教室推進事業により実施しており、放課後児童健全育成事業に基づく条例は不要となったため、本条例を廃止するもの	原案可決	全員賛成
議案第16号	仁淀川町立中央公民館の指定管理者の指定について ・指定管理者 仁淀川町商工会 ・指定の期間 平成31年4月1日～平成34年3月31日	原案可決	全員賛成
議案第17号	仁淀川町池川439交流館の指定管理者の指定について ・指定管理者 池川439 L O V E ・指定の期間 平成31年4月1日～平成34年3月31日	原案可決	全員賛成
議案第18号	仁淀川町移住交流拠点施設の指定管理者の指定について ・指定管理者 一般社団法人 山茶小屋 ・指定の期間 平成31年4月1日～平成34年3月31日	原案可決	全員賛成
議案第19号	平成30年度仁淀川町一般会計補正予算(第4号)について ・地方創生道整備推進交付金事業の事業費確定により、5,867万2,000円の減額補正など、1億9,527万3,000円の減額補正で、補正後の合計は、67億9,104万2,000円	原案可決	全員賛成
議案第20号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について ※特別調整交付金の決定による直診会計繰出金1,664万2,000円の補正で、補正後の合計は、8億3,055万4,000円	原案可決	全員賛成
議案第21号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第2号)について ※大崎診療所建て替え工事における基本設計委託料1,101万6,000円の減額補正など、補正後の合計は2億447万6,000円	原案可決	全員賛成
議案第22号	平成30年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算(第2号)について ※財政調整基金積立金168万9,000円の補正など、補正後の合計は、12億9,473万1,000円	原案可決	全員賛成
議案第23号	平成30年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について ※土居配水区簡易水道施設整備設計委託料100万円の減額補正、補正後の合計は9,470万円	原案可決	全員賛成
議案第24号	平成31年度仁淀川町一般会計予算について	原案可決	反対:左京議員 岡田議員
議案第25号	平成31年度仁淀川町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	全員賛成

議案の審議結果

平成31年第 1 回仁淀川町議会 3 月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第26号	平成31年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定予算について	原案可決	全員賛成
議案第27号	平成31年度仁淀川町介護保険特別会計予算について	原案可決	全員賛成
議案第28号	平成31年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	全員賛成
議案第29号	平成31年度仁淀川町簡易水道事業特別会計予算について	原案可決	全員賛成
議案第30号	平成31年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決	全員賛成
議案第31号	平成31年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計予算について	原案可決	全員賛成
発議第1号	仁淀川町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	原案可決	全員賛成
発議第2号	一般国道33号地域高規格道路（高知松山自動車道）早期整備促進を求める要望書の決議について	原案可決	全員賛成
発議第3号	家族従業者の人権保障と「女性の活躍」を促進するために「所得税法第56条の廃止を求める」意見書	原案可決	全員賛成

議長（ロメモ！

議員の責務

定例議会は、年 4 回開催されるが、いずれも緊張の連続で息を付く暇もない。中でも 3 月定例会は翌年度の予算を決定する重要な議会となる。

予算は一般会計と特別会計、膨大な款、項、目、節に分類されており、短期間で議員がその全てを把握し理解するのは厳しいと思う。

納得のいかない議案に賛成はできず、多数が反対すれば予算が通らず行政がマヒしてしまう。

賛成か、反対か！議員の存在価値が問われる場面でもある。

多数の議員は執行部を信頼し賛成している。

あとは適正に処理されているか否かを批判監視し、議員としての責務を果たしている。

反対なら修正案を提出して反対すれば良い。

修正案もなく、やみくもに反対するのは、議員の責務を果たしているとはいえないと思う。

議長 若藤 敏久

※読後、議会だよりに対するご感想、ご意見をお寄せください

(仁淀川町議会事務局)

☎35-11081

☞吾川郡仁淀川町大崎200番地

※議会を傍聴しませんか
(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

町 政 を 問 う 一般質問 8 人登壇

- ☆野村安夫 議員 P 13
 ☆外国語教室の開催は
 ☆介護職員の給料が安いのでは
 ☆町道小郷線の改修
 ☆岡智準 議員 P 14
 ☆職員への勤務管理は
 ☆入札への提言
 ☆ごみ袋をより小さく
 ☆大野 弘 議員 P 15
 ☆防災対策事業の取り組み、及び補助制度について
 ☆耕作放棄地対策について
 ☆西森常晴 議員 P 16
 ☆引地橋に歩道を
 ☆機械改革
 ☆森林環境税の使途
 ☆公園整備(下名野川)について
 ☆竹本文直 議員 P 17
 ☆改正入管法
 ☆中学生に議会傍聴を
 ☆保育士確保
 ☆左京憲昌 議員 P 18
 ☆大崎橋の掛け換え
 ☆文化財保護
 ☆統一基準はできたか
 ☆藤崎源彦 議員 P 19
 ☆防災支援策は
 ☆西森久雄 議員 P 20
 ☆学校評価アンケート

一般質問

外国語会話を教室で
開催しては英会話教室の
開催を検討する

問

野村安夫議員

2020年には東京オリンピック、パリオリンピック、2025年には大阪・関西万博の開催が予定され、外国人の観光客、雇用人数が増加すると考えられる。外国語教室を町主催で開催してはどうか。

答

竹本教育長

ニーズがあれば、外国語指導助手や外国語に堪能な方にお願ひし、英会話教室の開催は可能である。社会教育の一環として実施することも考えていく。

問

野村議員

最近、国会で外国人の雇用の拡大が議論され、外国人労働者と話す機会が多くなる。英会話、韓国語、中国語など勉強の機会を作っては。

答

竹本教育長

町による講師の雇用は、予算措置の問題で早急には厳しいが、英会話教室を中心に検討する。

答

大石町長

非常に大事なことで、教育長と相談し前向きに検討していく。

介護職員の給料が安い

答 支援策を検討する

問

野村議員

本町の介護職員（臨時職員を含む）の給料は、全国平均、県平均、市町村平均に比べ、低いとの声がある。引き上げる考えはないか。

答

大石町長

平成29年度介護職員処遇改善実績報告書では、本町の介護職員の平均給与額は21万4千801円、国の平均より約7万8千円、県の平均

より約3万5千円低い。

賃上げは、仁淀川町ホームヘルパー確保対策事業費補助金を創設し、補助金22万2千円を賃金に上乗せしている。臨時、非常勤の給与が低い理由は勤務時間が短いため。

問

野村議員

賃上げの可能性はないのか。

答

大石町長

今後、事業所など、意見交換する中で支援策も検討していく。

町道小郷線・早急に対処を

答 悪い箇所から補修する

問

野村議員

池川橋から旧小郷線、約200m区間通行止めは長期間続いている。進捗状況は。

答

大石町長

県の補助事業により平成30年度中の着工を目指していたが、工事費が高額となるため、国の補助金による県営治山事業の平成31年度事業採択に向け申請している。

問

野村議員

応急工事を実施して、土砂くずれを防ぐ方法もあるのでは。

答

古味池川地域振興課長

5m程度の高さの防護柵では安全に通行できる状況にはならない。対岸に7mの町道もある。

問

野村議員

池川茶業組合上部から、寄合・白髪之三差路分岐点までの舗装工事の再開の見通しは。産業、経済の発展からも早急に実施しては。

答

大石町長

舗装工事は、国、県とも相談しながら事業の導入を図っていく。損傷が著しい箇所から補修を続ける。



落石の危険があり、長期にわたり通行止めとなっている

職員の勤務管理は



答 タイムレコーダーを導入し管理

問 片岡智準議員

本町職員、個人の勤務時間管理を聞く。

答 大石町長

合併後は出勤簿への押印で管理していたが、平成30年1月からタイムレコーダーを導入、勤務管理し、毎月課長に知らせて把握させ、時間外は勤務命令簿で管理している。

問 片岡議員

先日、午後9時ごろに、

退庁する若い職員2人を見かけた。一人の職員が偏った時間外をしていないか。ストレスチェックは有効に活用しているか。

答 片岡総務課長

月初めに各課長が確認しており問題はない。ストレスチェックの参加者は約80%あり、衛生委員会を設置し健康管理を図っている。

問 片岡議員

ストレスは個人差がある。上司が健康管理に配慮しているか。

答 片岡総務課長

各課の上司が気を付ける。

入札への提言

答 一括下請けの禁止

問 片岡議員

工事期間中は落札業者が主たる形で工事を進め、下請け業者が従とする形を入

札条件にすれば。

答 大石町長

本町は原則地域密着型の指名競争入札。

指摘の件は工事請負契約第6条に一括委任または一括下請け禁止条項があり、工事の施工管理や安全管理を元請け業者の責務として指導を徹底している。

問 片岡議員

万が一、不可抗力を除き、事故などが起きた場合は元請け業者にあると理解してよいか。

答 大石町長

契約上、元請け業者の責任であり、今後とも施工管理・安全管理を含め指導を徹底する。

ごみ袋の特小化

答 衛生担当者会で議論

問 片岡議員

現在2種類のごみ袋で運用しているが、一人所帯が多く、一度に出すごみの量

も微量で現在の袋では実に無駄な印象を受ける。次回収集日まで待つと、夏季を迎え異臭を放つことが予想され、早急に小さなごみ袋化を進めては。

答 大石町長

ごみ袋は高吾北広域町村

事務組合で対応している。ごみ袋特小化の必要性は認めるが、コスト面や3町の問題でもあり、地域の実情も踏まえながら、3町で構成する衛生担当者会で結論を出し、最終的には条例改正をする必要がある。



(1) 〃石垣トマトハウス2年目〃



石垣トマトハウス



マンゴーの木に花が咲いている

夏場は土作りに専念、さらに栽培方法も工夫して平成30年9月15日に植え込み、平成31年1月13日ごろから順調に収穫が始まった。これまでに約65kgの収穫ができたものの、3種類のの方法（地植え2、袋植え1）にそれぞれ味のばらつきがあり、残念ながら目標とする味には到達しなかった。しかし、田んぼという条件で一部糖度7程度まで上がったことは好転の兆し、来年につながるいい結果となった。一方のマンゴーはハウス内の気温（42度）が上がり過ぎ、12月に花芽が満開。

慌てて剪定することから、3月満開予定の花芽一部に実（マンゴー）が付かず四苦八苦。でも、昨年（2018年）の二の舞になら

ないよう毎日水やりを欠かさず愛情を注いだところ、いくつかのマンゴーが大豆くらいの大きさに成長、6月下旬ごろ仁淀川町の第1号となる収穫を夢見、心待ちしています。

（片岡智準 記）

防災対策事業の 取り組み、及び 補助制度について



安心して暮らせる体制を整え、
公共施設などの耐震化も順次進める

問

大野 弘議員

老朽化した家屋、公共施設、避難路や通学路、ライフラインの取り組み状況及び今後の対策、また、耐震診断の普及状況は。

答

大石町長

町内には耐震不足の住宅が4千477戸あると推測、耐震診断済み住宅は66戸、耐震改修済み住宅は24戸。耐震化の推進に取り組み、災害時拠点となる庁舎は、耐震化が完了。

耐震化されていない施設は順次整備する。

ライフラインについて関係機関と応援協定を締結。

役場庁舎間の道路は、緊急輸送に必要な最低限の通行が可能となるよう、関係機関で役割分担を決め取り組む。

国道以外は順次復旧。水と食料は、1千20人分が3日間生活できる量を備蓄する。

問

大野議員

地震対策などの補助制度は、周知されているのか。

答

大石町長

住宅の耐震化や地域で利用する資機材整備、防災行政無線の戸別受信機貸し出し、避難生活で必要となる物品を整備する事業などがある。広報などで周知徹底を図る。

問

大野議員

家屋の耐震診断の普及は不十分。

道路やライフラインなど計画的な改修は、国、県の補助制度を利用し積極的に

推進し、安心安全を図ることが大事。

答

大石町長

住宅の耐震化は大きな課題。補助金もあるが個人負担が必要となるため進まないのが現状。県からの指導もあり、積極的に取り組む。

ライフラインや、避難路は、安心して暮らせる体制を整え、公共施設などの耐震化も順次進める。

耕作放棄地 対策について

〔答〕対策協議会で検討する

問

大野議員

過疎高齢化、担い手不足で耕作放棄地が広がり、鳥獣被害も増加している。

町は対策に取り組んでいるが、現状及び今後の耕作放棄地対策を聞く。

答

大石町長

鳥獣被害の現状は、イノシシの捕獲頭数は、平成30年度1月末現在で132頭。対策としては、わなの設置や見回りを実施。町内3地区

で柵を用いて地域全体を囲む取り組みやトタン柵に対しても補助も行っている。

耕作放棄地対策では、中山間地域等直接支払制度の活用、町内19協定を結び、事業に取り組んでいる。

問

大野議員

鳥獣被害で作物が収穫できない。

有害鳥獣捕獲買上金は、狩猟期間中、イノシシ以外の動物には支払われ、イノ

シシにはない、支払うべきではないか。

銃の保有者の高齢化が進み、返納者もいる。狩猟の資格取得に対し補助金などの支援を行い、少しでも負担軽減を図ることが必要。

答

大石町長

今後狩猟期間中どうしてもいくのか、いろいろ課題もある。対策協議会で意見交換しながら対応したい。



拡大する耕作放棄地

一般質問



引地橋に歩道を

国交省に強く要望していく

問

西森常晴議員

引地橋の交通量が増えている。橋を渡る歩行者の安全確保が急務と考えるが。

答

大石町長

引地公園の花桃の開花とともに、近年引地橋の通行者が増えている。

ドライブイン引地橋から崎ノ山団地までの1.5kmの歩道整備を国土交通省に強く要望していきたい。

答

片岡産業建設課長

今、仁淀川町が国道33号

整備促進期成同盟会の事務局をしている。要望書に追加する。



花の時期には多くの観光客で賑わう引地橋付近

機構改革

答再編を目指し準備中

問

西森(常)議員

役場の機構改革は進んでいるか。

答

片岡総務課長

合併してから、住民基本台帳人口は7千803人から2千432人減。

職員数も191人から44人減となっているが、類似団体と比較すると、超過となっている。

庁内で検討会を設置し地域長・地区長などの意見も

聞き、平成32年4月からの再編を目指し準備を進めている。

問

西森(常)議員

兵庫県明石市長、泉房雄さんが市長になって、明石市の人口は、年間1千人減が2千人増に。幹部職員に弁護士5人採用。

水道局150人の職員は3分の2カットし財源確保など大胆な発想と実行で多くの市民の信を得ている。型にはまった考えただけでは良い結果が出せないと考えているが。

答

片岡総務課長

課長補佐、係長クラスの職務経験を生かした意見に若い職員の発想も取り入れたものにしたい。

森林環境税の用途

答有効に活用する

問

西森(常)議員

森林環境税の前倒しで31年度3千500万円余りが配分される。

使途は。

答

片岡産業建設課長

町独自の林業研修生制度や間伐材流通促進、森林所有者への意向調査などに充てる。

問

西森(常)議員

森林行政の先進地、岡山県西栗倉村は銀行と提携し新たな試みを始めた。参考にすべきと考えるが。

答

片岡産業建設課長

仮想通貨を集めるICOによる資金調達を導入する試みと思われる。

この取り組みは、林業分野だけでなく、今後、町全体の取り組みの中で参考にすべきと考える。

仮想通貨を集めるICO
資金調達をしたい企業や事業プロジェクトが、独自の仮想通貨を発行／販売し、資金を調達する手段／プロセスのことを指します。投資家には「コイン」や「トークン」と呼ばれるデジタル通貨(資産)を購入してもらい、原則として対価は支払われない。

問

西森(常)議員

宇佐の貝が取れなくなっ

た。貝の餌のプランクトンが少なくなったのが原因だ。プランクトンが少なく

なったのは山が枯れたから。山を昔に戻せば、また、宇佐で潮干狩りが楽しめる。山で、潮干狩りのイベントをしてはどうか。

答

片岡産業建設課長

漁場の保全も含んだ、山に興味をもってもらう取り組みを考えていきたい。

公園整備(下名野川)

答前向きに検討する

問

西森(常)議員

下名野川地区から公園整備の要望が出ているが、実現可能か。

答

片岡産業建設課長

中央西土木事務所と協議し、可能な所は前向きに検討する。



公園の現風景

改正入管法施行、
本町の考えは

答 前向きに取り組む

問 竹本文直議員

平成31年4月、改正入管法が施行、より多くの外国人が仕事を求めて入国してくる。本町の対応及び考えは。

答 大石町長

想定される業種は、建設業、介護職、宿泊業、飲食料品製造業など。

各事業所の要望があれば、町として支援について検討していく。

問 竹本議員

町内の人材不足を考えると、外国人を受け入れる必要があるのでは。

答 大石町長

前向きに考え、町の支援体制をどのような形でできるか、今後勉強していく。

中学生に議会傍聴を

答 今年度は模擬議会を予定

問 竹本議員

中学生に議会の傍聴をさせ、地域のことを考えるきっかけとしては。

答 竹本教育長

町の将来を担う中学生が、議会を傍聴することは、地方自治の役割や町づくりを自ら認識する上で、大変重要なこと。

平成31年度は模擬議会を計画、地域の問題や町づくりなど、本町の課題を考える機会を与え、本町に関心と興味を持ってもらい、社会人になったときに一人で

も多く本町で生活してもらえたらと考える。

問 竹本議員

各学年でそれぞれの勉強としては、例えば1年生で傍聴、2年生で、町内の課題や問題点などを洗い出し、3年生で模擬議会を行っては。

答 竹本教育長

一貫した勉強は非常にいいことだ、可能であれば、積極的に検討していく。

保育士確保について

答 不足する可能性が高い

問 竹本議員

各保育所に勤務する保育士の確保は十分か。



長者保育所

答 竹本教育長

新年度スタートはギリギリで足りているが、新規入所希望者が出れば、受け入れが難しい状況もあり得る。

0歳児は3人に1人、1〜2歳児6人に1人、3歳児15人に1人、4〜5歳児30人に1人と、いう割合で保育士が必要。

現在は0〜1歳児が多く、今後保育士不足となる可能性が高くなる。

問 竹本議員

各保育所職員の定員は何人か。町外からの通勤者は何人か。

答 竹本教育長

在職保育士は、正職員保育士12人、臨時保育士6人、支援員4人、計22人、町外からの通勤者については今把握した資料を持っていない。

問 竹本議員

私の調査では町内の在住者、5〜6人。

町外在住の職員は、地元

地元保育所へ行く。

町内在住の有資格者に協力を願う必要がある。また、条件として町内に居住する、これも必要。

役場職員、元職員にも有資格者がいる。そういった方々に再就職先としてお願いすることは考えないか。

答 竹本教育長

役場を退職した方で、保育士免許を持っている方に声掛けをするなど、社協と共に保育士確保対策は積極的にしていく。



ふたば保育所



大崎保育所

大崎橋目視点検の結果と今後の取り組み

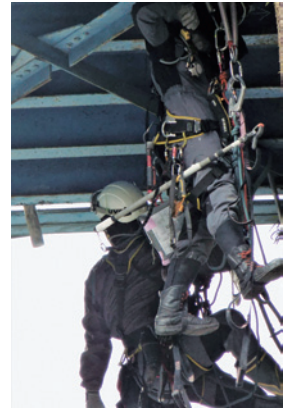


専門家に委託し
架け替えなどを検討する

平成31年1月に実施した目視点検の結果と今後の取り組みを聞く。

問 左京憲昌議員

建設時から58年経過し全体的に老朽化に伴う劣化が進行している。特にケーブル、補剛桁などの上部構造について、全体的に腐食が進行していたが、すぐ落橋を引き起こす損傷ではないと判断。
放置すれば、路面の陥没などに進展し、通行機能に



命網を頼りに橋桁の下に潜り込み点検する作業員

支障を及ぼす事態になることも想定される。今後の対策を検討するとともに、異常の有無などに注意して監視するよう努める。

住民生活と産業面での懸念もあるので、現在の橋の機能を維持しつつ、大崎橋の架け替えは大変重要な課題だと認識している。

現在の状況で大崎橋を架け替える場合に、ルートや事業費・用地の問題など検討していくために、平成31年度調査費を計上。
専門家に委託して調査結果をもとに、架け替えなどを含めて検討する。

補剛桁 橋の床などの通行部分に、鋼製補強の目的で設置される桁のこと。無補鋼の吊り橋に比べて、構造が頑丈である。

文化財の保護について

問 左京議員

泉の番所の改修に対する

審議会の結論と今後の取り組みは。

答 竹本教育長

泉の番所は、昨年6月の文化財保護審議委員会でも検討。現状の茅葺での改修は高額となることや、葺き替えの間隔が短いことなどが課題となった。

最終的には、腐りにくい素材で入母屋造りの外観が変わらないように改修をし、可能であれば中のものの撤去をお願いし、昔の状況に近い番所として、説明板を道路のそばに設置するなど、文化財として見てもらいたいように整備する。

看板も設置したいと考えており、平成31年度予算にその費用を計上。

統一ルールはできたか

問 左京議員

仁淀川町の制度やルールが統一されているのかと以前に質問したが、進捗状況は。

地区集会所用地の費用負担、借地料の算定基準、統一に向け調査検討は進んだのか。

答 大石町長

本町合併から14年が経過するが、一つの町として制度統一は非常に大事なことで、統一の方向で取り組んでいる。

地区集会所などの用地費用負担は、統一できておらず制度統一に向けて調整をしていく。

借地料算定基準の統一は、あまり進展していない。自動更新される契約について

○知事が本町を視察

地域住民と意見交換会

3月20日、尾崎知事が本町を訪問。「対話と実行」の取り組みを推進するため、地域住民との意見交換会を行われた。

町で活動する3団体「トレトレ株式会社」「池川茶業組合」、簡易宿泊施設「山村自然楽校」のもの3者に、活動内容や苦労話などを聞いた。

議会から議長、副議長、議員3人が参加。住民から出された広域的な課題、意見を知事と一緒に共有することができた。



住民からの要望に回答する知事（中央公民館）

では、当時の契約がそのまま優先されるので、単価基準の統一は現段階ではなかなか難しい状況だが、機会を捉え所有者と協議をしていく。

問 左京議員

工事の設計基準やルールは統一されているのか。

答 大石町長

設計基準は、県内統一となっている。

高齡化の進んだ地域への防災支援は？



消防団と協力し積極的にかわる

問

藤崎源彦議員

自主防災組織は、町内全域で組織化されている。高齡化が進み、有効に機能するか懸念される地域がある。町はどのように支援を進めるか。

答

大石町長

自主防災組織は、現在102組織で、組織率約98%。町職員が地域と積極的に関わり、資機材の点検や防災学習会、防災訓練など消防団と協力して実施。高齡化の

進む地域は特に普段からつながりを持てるように努めている。

また、特に小さい集落は、高齡化が進み単独での活動が困難。仁淀地区の地域長制度のような形で、周辺集落が連携する組織づくりも必要。

問

藤崎議員

救命処置の知識習得と、防災意識向上を目的とし、消防署または日本赤十字社の救命講習を積極的かつ定期的に実施しては。

答

大石町長

自主防災組織連絡協議会の総会時の勉強会や、消防学校での1日防災訓練、町防災訓練での救急救命講習などを年に1回実施している。救命講習は、継続しないと実践で活かせない。定期的に取組む。

問

藤崎議員

防災リーダーの養成として、防災士の資格取得者を増やす取り組みを推進しては。

答

大石町長

現在、町内の防災士は10人。

今年度から地域に積極的に入り、いろいろな相談ができる体制を取っている。

防災士
防災士制度は、阪神・淡路大震災を教訓とし、民間の防災リーダーを養成する目的で創設された。防災士は、「自助・自らを守る行動」「共助・地域市民とともに助け合う行動」の活動を災害発生時に実践する人材と位置付けられている。



いざというとき、頼りになる消防団、防災訓練の様子

また、「れんけいこうち防災リーダー育成事業」を、今年度から高知市と連携して開始。この事業を通じ、防災知識習得の機会を広く提供できる体制をつくる。防災士の資格取得者を増やす取り組みを推進し、町

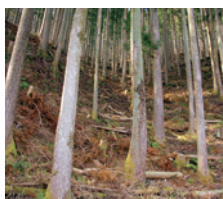
職員・消防団員の資格取得についても、業務などとの調整を図り前向きに取り組む。そして、防災士を中心とし、消防団と一緒に地域を回り、防災講習の機会を増やすなど、地域の防災力向上に力を入れたい。



(2) 間伐取り組み3年目

今年で3年目を迎えた間伐も順調に進み、昼間でも薄暗く、立ち枯れ状態寸前だった森林が今、蘇りつつあります。「山を持つについても仕方がない、山はお金にならない」数年前まではこの話が当然のことのようにささやかれ、山を振り返る方は本当に少なかった。

しかし、ここ数年大きな自然災害が各地で発生し、その原因の一つに山の保水効果の低下などがあり、にわかに原点回帰への取り組みが活発化し、国・県・町行政が防災減災に力を入れてきた。



手入れされた植林



手入れが行き届いていない

その一つに森林環境税が新設され、配分の詳細は分かっていますが、間伐事業などへの配分も十分予想され、一段と間伐への補助金上がり、地権者の皆さんへお金が回ってくることを推測されます。

今、(お金が還元)その恩恵を肌で感じ、3年目を迎えた現状を地権者の皆さんに周知することが私の使命だと思っています。

“今こそ間伐を”

平成30年度学校評価アンケートについて



教職員と生徒との関わりに問題点が多い

問

西森久雄議員

学校評価アンケートが実施された、町全体としての良い面、考えなくてはならない点、また教育長としての評価を聞く。

答

竹本教育長

小学生は学校や学級に対する満足度・授業の理解度・先生との関係などすべての項目で肯定的な結果。中学生は気軽に先生に相談できるかの項目で肯定的評価は低い。それ以外の項

目では肯定的な結果である。課題は、小学生保護者の「子どもは目標を持って学校生活を送っているか」悩みななどを教職員に気軽に相談できるか、中学生保護者の「先生との関係や目的を持った学校生活か」、小学校地域の「進んであいさつをしているか」などの項目。

総合的に見て中学校での教職員と生徒との関わりに問題点が多く、特に保護者の評価については小中学校ともに低いことは大きな問題点と捉え、今後の重要課題であると考えます。

問

西森(久)議員

学校に力を入れてほしい質問で「開かれた学校づくり

り」の数値が低かったが、どう考えるか。

答

竹本教育長

学校の内部だけで問題を抱えるのではなく、情報オープンにして地域全体で課題解決に向けた取り組みを行う制度だが、活動自体が積極的に活用されていないところもある。

今後は学校経営に地域の方に入ってもらう「チーム学校」へと制度移行が検討されている。

答

古味教育次長

学校評価では特に記述式の欄で大変厳しい意見があり、魅力ある学校づくり・明るい教職員の職場づくりができれば充実した子どもの学校生活を送れるのではないかと考える。それを目指して、今後改善していく。

児童・生徒のみなさんへ

平成30年 月 日

仁淀川町教育委員会

学校評価へのアンケートについて

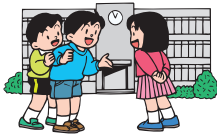
学校生活をより充実したものにするために、毎年アンケートを実施しています。みなさんの貴重な意見が大切になります。

1. 次の(1)～(7)の項目にあてはまるものに○を入れてください。

	とてもいい	ややいい	やや悪い	とても悪い
(1) あなたは学校生活が楽しいですか				
(2) あなたは授業がよかったですか				
(3) あなたは目標を持って学校生活を送っていますか				
(4) あなたは休みや遊んだことについて先生に相談できますか				
(5) あなたは自分の学校が、楽しいですか				
(6) 学校や先生はあなたたちの意見を聞いてくれますか				

2. 次の(1)～(7)の項目について、あなたの意見を書きなさい。

(1) 学校生活の楽しさ	
(2) 授業の面白さ	
(3) 先生との関係	
(4) 学校生活の目標	
(5) 学校生活の満足度	
(6) 学校生活の不安	
(7) 学校生活の希望	

一般国道33号地域高規格道路（高知松山自動車道）
早期整備促進を求める要望書

一般国道33号は、高知と愛媛の県都を結ぶだけでなく、四国縦貫自動車道や横断自動車道、さらには本四連絡道路を経て、関西・中国・九州との交流を促進する重要な路線であります。

また、沿線地域にとりましては、道路が唯一の交通手段であり、道路なくしては、日常生活に支障をきたすことはもとより、産業振興のためにも不可欠で、地域を支える基盤であります。

しかし、当路線は厳しい地形条件から連続雨量が250mm超の異常気象時には、事前通行規制区間で全面通行止めとなり、住民生活や経済活動に大きな支障をきたしています。山間部では落石や地すべりなど自然災害の恐れがある箇所が多く、極めて危険度の高い状況にあります。その上、線形不良箇所では交通事故が多発するなど、依然として安全安心に道路を利用することができません。

愛媛と高知の県境に位置する仁淀川町は、一般国道33号以外に代替路線を有しないことから、降雨による全面通行止めの際には陸の孤島となり、あらゆる方面に支障をきたす事態となっています。このような通行規制区間を解消することで第二次・第三次医療施設への救急搬送の確保や、農産物・林産物の輸送確保による信頼性の向上、主要な観光施設へのアクセス向上など、安心・安全を確保することにより、町外への流出者の歯止めや、町外からの流入拡大につながるなど大きな期待が見込まれます。

仁淀川町議会は、現在実施中の越知道路、橘防災の早期開通、及び事前通行規制区間解消のため、地域高規格道路早期整備促進を強く求めるものであります。

以上決議する。

平成31年3月7日

高知県仁淀川町議会

高吾北広域町村事務組合報告

平成31年2月27日（第1回定例会）

高吾北広域町村事務組合議会（第1回定例会）が平成31年2月27日に開催され、平成31年度一般会計予算14億7千551万円。

特別養護老人ホーム特別予算12億5千819万円。

養護老人ホーム特別予算1億1千286万9千円。

障害者支援施設（湖水園）特別予算1億7千807万2千円を執行部提出原案通り採決決定し同日閉会した。

なお、組合長諸般報告は次の通り。

組合長（仁淀川町長）報告

清掃センター基幹的施設整備工事の進捗状況は、2号焼却炉更新機器の単体試験運転が終了。

今後の予定は性能検査終了後、4月から焼却の本格運用を開始し、1号焼却炉の解体に取り掛かる予定。不燃物処理施設改修にも着手する。

衛生センター

し尿処理量は、浄化槽汚泥の合計で1万2千945㎏、約2.2%、293㎏の減となっている。

清掃センター

1月末のごみ処理量は、

7千247tと昨年同時期と比較すると186tの減。

ごみ総量のうちアルミなどの金属類、段ボールなどの紙類、ガラス類、ペットボトルなどの資源化量が843tで、総量の11.1%が資源となり再利用。

昨年度より焼却灰、煤塵の最終処分を民間処理業者に委託して、平成30年度は780トンの搬出を見込んでいます。

高吾苑

利用件数は1月末、674件で前年と比べ79件の増、管内が397件で59%、管外が277件で41%。

件数増の要因は、高知市火葬場改修工事に伴い受け入れの制限をしていたことにより管外が増加。

介護認定審査会

1月末までの審査件数は、佐川町961件、越知町517件、仁淀川町678件、生活保護法の規定に基づく審査が6件で合計2千162件と昨年比69件の増。

市町村審査会

佐川町18件、越知町3件、仁淀川町15件、合計36件で

昨年比25件の減。

相談支援事業所

今年度に新たに10人と契約、契約者は88人。年間のサービス等利用計画書作成数は69件、計画作成後のモニタリング報告書、継続サービス利用計画書の作成は112件となっている。

平成30年度障害者福祉サービスなどの報酬改定で、支援の必要性の観点からモニタリング実施標準期間の見直しが行われ作成件数が増加となっている。

消防署

平成30年中の出動状況は、救急出動が前年より54件増加、1千603件、過去最高、一日平均4.4件の出動となり、管内の16人に1人が搬送されたことになる。

このうち65歳以上の高齢者搬送の割合は約79%を占め、増加傾向。

管内の医療機関の受け入れ体制は、脳疾患、心疾患の受け入れ可能な病院がなく、高知市内などへの管外搬送が全体の約57%を占める状況。このため2台の救急車が出動中にも救急要請が入るなど、2台の救急車では即応できず、消防隊員が初動対応するケースがこの数年増えている。

●ヘリコプター

ヘリコプターによる搬送は、臨時離着陸場の積極的な整備により、ドクターヘリや防災ヘリを77回要請、重症患者の社会復帰や救命率の向上に大きな効果が表れている。

●救助出動

救助出動は前年より2件多い22件で、うち18件が交通事故、2件が一般負傷、労働災害とその他が1件ずつとなっている。

●火災出動

火災出動は前年比2件増の14件。町別では佐川町6件、越知町4件、仁淀川町4件。火災種別は、建物火災9件、枯れ草などその他火災が5件となっている。

火災による損害額は前年より33万円減り、1千159万円で、死者1人、負傷者4人。

特別養護老人ホーム

2月初日の入所待機者数は、保険者別で佐川町29人、越知町37人、仁淀川町20人、その他12人で合計98人となっており昨年と比較すると増加傾向。

養護老人ホーム五葉荘

介護を必要とされる方の入所が多く、入所者50人のうち、要介護1～4までの

方が28人、要支援の方が4人で要介護認定者数は32人、平均年齢は89歳で町村別構成は、佐川町4人、越知町14人、仁淀川町31人、四万十町1人。入所待機者数は現在1人しかいない状況であり定員を確保することが今後の重要な課題となっている。

障害者支援施設湖水園

現在の利用者数は50人、平均年齢は49歳、平均在園年数は22年となっている。60歳以上の方が14人で高齢化によるADL（日常生活動作）の低下が断続的に進み、6段階ある障害程度区分の平均は4.7。入所待機者は現在10人となっている。



特別養護老人ホームあがわ荘全景



残したい
文化財

「五所神社」(川渡)
見応えがある彫刻や大型の絵馬

明治16年 山口県大島郡浮島 川上新吉により建造されたと棟札で確認されている
(東和町誌資料編1 長州大工引用)

日 記 帳

2月	31年1月	4月5日	30年12月
11日 秋葉祭り	2日 仁淀川町成人式	14日 吾川郡町村議会 議長会	21日 高知県町村議会 議長会第70回定 期総会(高知県 自治会館)
18日 議員全員協議会	13日 仁淀川町消防団 出初式		21日 高知県町村長・ 町村議会議長大 会
19日 高瀬地区直轄地 すべり対策事業 完工式	21日 議会だより特別 委員会		25日 高知県立佐川高 等学校卒業証書 授与式
	21日 議会基本条例検 討特別委員会		26日 高知市 議会基本条例検 討特別委員会
	29日 国道439号新矢筈 トンネル早期実 現期成同盟会要 望活動		25日 議会議長出席 【竹本副議長出席】
			1日 高知県立佐川高 等学校卒業証書 授与式



編集後記

定例議会は、当初予算に
対する質疑応答を中心とし
て活発な議論が展開された。
特に、老朽化した建物の、
建て替え、耐震化、改修の
議案が目立ち、中でも、「山
村自然楽校しもの郷」の建
物改修に合わせて新設する
集落活動センターに対し、
説明を求める意見が多く出
された。

また、議員報酬引き上げ
の条例改正には、議員に賛
否両論あり、賛成・反対の討
論が展開された。

現状の報酬は、合併時、
旧3カ町村のうち最も低い
額を基準とし制定。

近年、地方議員のなり手
不足が深刻化し、報酬の低
さが原因として、引き上げる
町村が多い。

本町の報酬など審議会の
答申では、なり手不足解消
が目的ではないと説明を受
けた。この解消や、若い人
材発掘が目的なら、もっと
思い切った見直しが必要か
もしれない。

(藤崎 源彦 記)

議長 若藤 敏久
副議長 大野 弘
編集委員 藤崎 源彦
副編集委員 野村 安夫
編集委員 左京 憲昌
副編集委員 竹本 文直
編集委員 竹本 文直